

## ①入域観光客数概況

## 1. 入域観光客数概況（25年4月～6月見通し）

|        |         | 4月(予測) | 5月(予測)  | 6月(予測)  | 4-6月計   |           |
|--------|---------|--------|---------|---------|---------|-----------|
| 2025年度 | 空路      | 国内     | 610,000 | 581,000 | 584,000 | 1,775,000 |
|        |         | 海外     | 158,000 | 163,000 | 162,000 | 483,000   |
|        |         | 合計     | 768,000 | 744,000 | 746,000 | 2,258,000 |
|        | 海路      | 国内     | 2,600   | 10,000  | 4,100   | 16,700    |
|        |         | 海外     | 58,000  | 60,000  | 45,000  | 163,000   |
|        |         | 合計     | 60,600  | 70,000  | 49,100  | 179,700   |
|        | 空路・海路合計 |        | 828,600 | 814,000 | 795,100 | 2,437,700 |
|        | 国内合計    |        | 612,600 | 591,000 | 588,100 | 1,791,700 |
|        | 海外合計    |        | 216,000 | 223,000 | 207,000 | 646,000   |

|      |         |    |        |        |        |        |
|------|---------|----|--------|--------|--------|--------|
| 前年度比 | 空路      | 国内 | 103.7% | 103.8% | 102.0% | 103.2% |
|      |         | 海外 | 147.0% | 146.2% | 134.0% | 142.1% |
|      |         | 合計 | 110.4% | 110.9% | 107.6% | 109.6% |
|      | 海路      | 国内 | 49.1%  | 500.0% | 77.4%  | 132.5% |
|      |         | 海外 | 112.8% | 160.4% | 90.9%  | 117.9% |
|      |         | 合計 | 106.9% | 177.7% | 89.6%  | 119.1% |
|      | 空路・海路合計 |    | 110.1% | 114.6% | 106.3% | 110.3% |
|      | 国内合計    |    | 103%   | 105%   | 102%   | 103%   |
|      | 海外合計    |    | 136%   | 150%   | 121%   | 135%   |

## ■概況

## 国内：

- ・物価高の影響を受け、全国的に旅行需要が弱含みの中で沖縄は底堅い人気に支えられ、引き続き好調に推移している。
- ・GW期間中の需要については、前半よりも4連休を控えている5月3日～6日の需要が大きい。羽田路線に加え、地方路線（中部、岡山等）の臨時便も運航予定。
- ・GWにおける海外旅行需要の大幅な回復に加え、関西万博など県外の大型イベントが開催されている中であっても、沖縄方面の予約数は43万人以上（JAL/ANA沖縄方面のみ合計、前年実績比107.6%）と前年を上回っており、他方面と比較されない沖縄の安定した需要が見られる。

## 海外：

- ・空路は台北、韓国仁川、香港路線の需要が引き続き堅調に推移している。離島空港発着の国際線も徐々に復便・新規就航しており、沖縄本島以外の地域へも外国人観光客が増加している傾向にある。
- ・海路は、引き続き海外クルーズが好調に推移している。

## ①入域観光客数概況

## 1. 入域観光客数概況（25年4月～6月見通し）

## 4月

## 空路

（国内）61万人（24年4月対比103.7%）と見込む。

（海外）15.8万人（24年4月対比147%）となる見通し。

香港＝新石垣路線

香港エクスプレス：4月3日～新規就航（デイリー）

仁川＝新石垣路線

ジンエアー：4月3日～新規就航 週5便（月火木金日）

高雄＝那覇

チャイナエアライン：4月6日～週3便（月水金）から週4便（月水金日）へ増便

6月1日からはさらに、週6便（月火水金土日）へ増便

## 海路

（国内）入域客数は2,600人（24年4月対比 49.1%）となる見通し。

国内クルーズは3回寄港予定。（横浜・東京・鹿児島）うち1回は石垣港のみ寄港。

（海外）5.8万人（24年4月対比112.8%）となる見通し。

台湾（基隆）や中国（上海・廈門）、香港などから16回寄港予定。うち11回は石垣港または平良港のみ寄港。

## 5月

## 空路

（国内）58.1万人（24年5月対比103.8%）と見込む。

（海外）16.3万人（24年5月対比 146.2%）となる見通し。

台北＝新石垣路線

チャイナエアライン：5月28日～10月25日 期間運航 週2便（水土）

## 海路

（国内）1万人（24年5月対比500%）となる見通し。

国内クルーズは6回寄港予定。（東京・横浜）うち1回は石垣港のみ寄港。

（海外）6万人（24年5月対比160.4%）となる見通し。

台湾（基隆）、中国（上海）、香港などから17回寄港予定。うち14回は石垣港または平良港のみ寄港。

## 6月

## 空路

（国内）58.4万人（24年6月対比 102%）と見込む。

（海外）16.2万人（24年6月対比 134%）となる見通し。

香港＝下地島

香港エクスプレス：6月27日～新規就航（デイリー）

釜山＝那覇

イースター航空：6月2日～デイリーから週4便（火木土日）へ減便

バンコク＝香港＝那覇

タイ・エアアジア：6月1日～新規就航（デイリー）

## 海路

（国内）4,100人（24年6月対比 77.4%）の見通し。

国内クルーズは1回寄港予定。（横浜）

（海外）4.5万人（24年6月対比90.9%）となる見通し。

中国（上海・南沙）や台湾（基隆・高雄）、香港、韓国（仁川）などから、16回寄港予定。うち4回は石垣港のみ寄港。

（空路）国内：県外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定のうち、観光客の混在率をかけたもの

海外：海外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定

（海路）国内：乗船客数想定のうち日本国籍のもの

海外：乗船客数想定のうち日本以外の国籍のもの

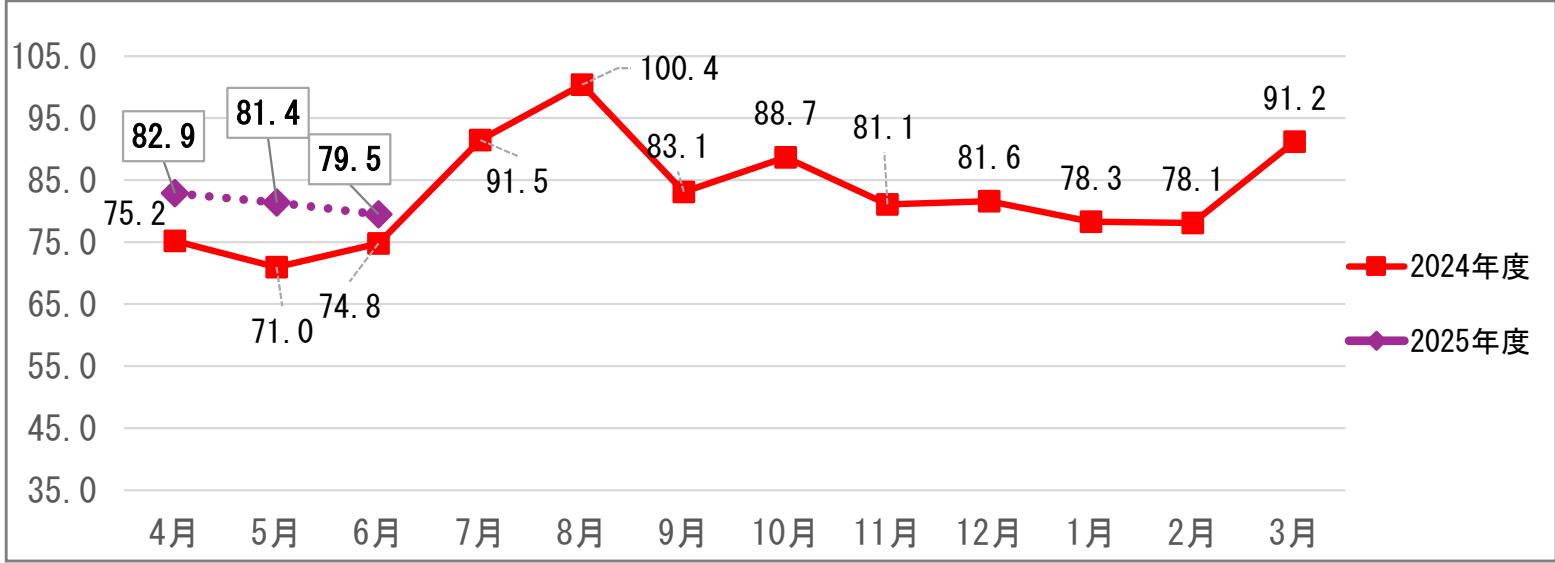
※国内クルーズ⇒発地が国内 海外クルーズ⇒発地が海外

# ①入域観光客数概況

## 1. 入域観光客数概況グラフ

入域観光客 (合計)

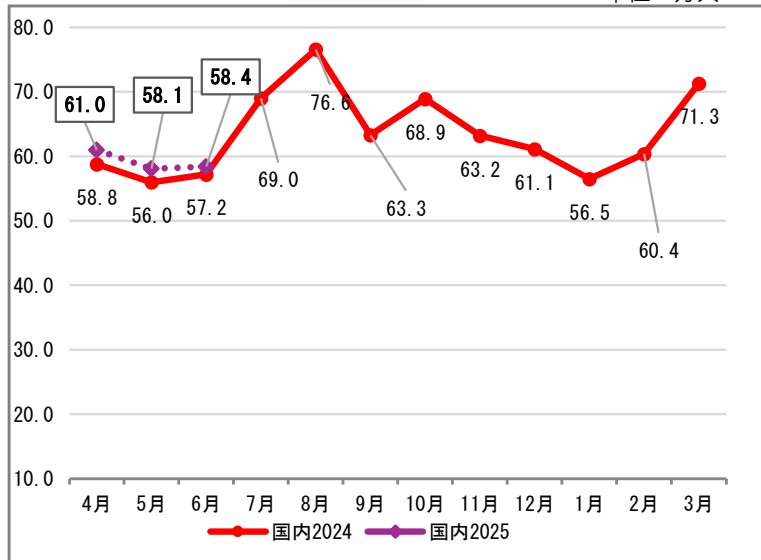
単位：万人



入域観光客 (空路)

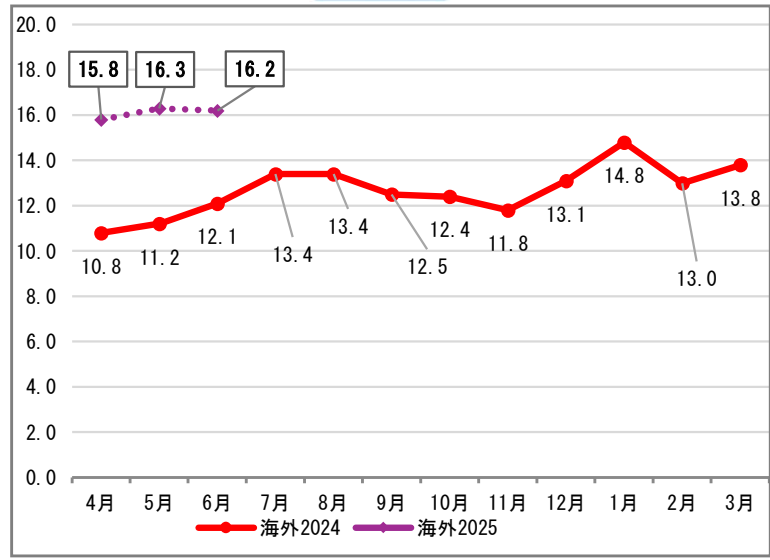
国内

単位：万人



海外

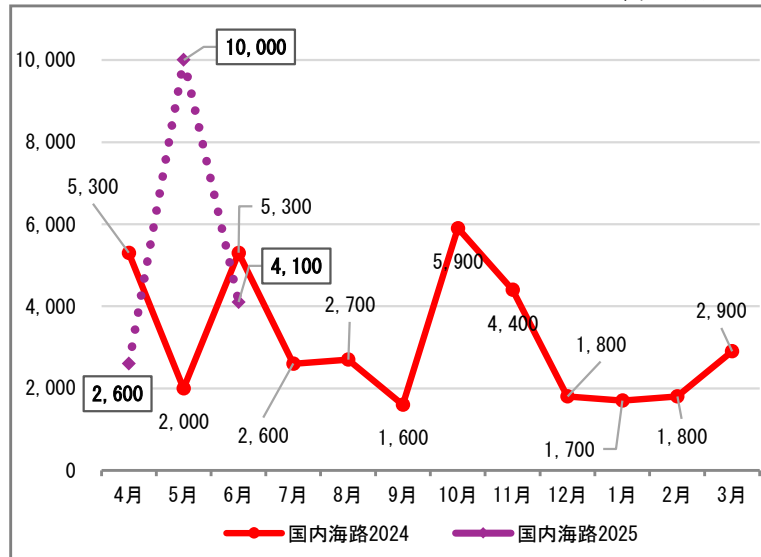
単位：万人



入域観光客 (海路)

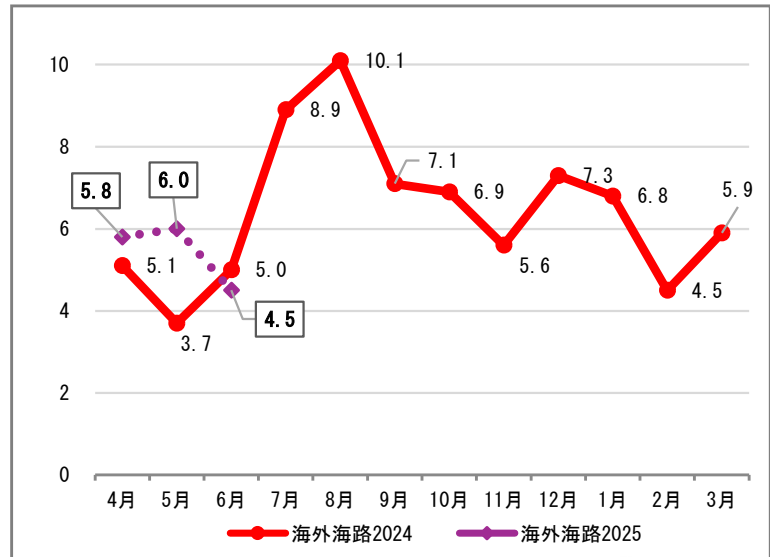
国内

単位：人



海外

単位：万人



## ①入域観光客数概況

## 1.空路国内線経由外国人入域概況（24年度下期・年度推計値）

| 地域別   | 2024年度合計 |      | 2024年度下期 |      | 2023年度合計 |      | 2023年度下期 |      | 主要国                                 |
|-------|----------|------|----------|------|----------|------|----------|------|-------------------------------------|
|       | 人数       | シェア  | 人数       | シェア  | 人数       | シェア  | 人数       | シェア  |                                     |
| 北米    | 167,680  | 52%  | 82,000   | 52%  | 133,000  | 53%  | 64,000   | 52%  | アメリカ・カナダ                            |
| ヨーロッパ | 55,600   | 17%  | 22,000   | 14%  | 45,000   | 18%  | 21,000   | 18%  | イギリス・ドイツ・フランス・スイス・<br>イタリア・スペイン・ロシア |
| アジア   | 46,660   | 14%  | 26,500   | 17%  | 35,000   | 14%  | 16,000   | 14%  | 中国・香港・台湾・韓国・ASEAN<br>・インド           |
| オセアニア | 9,040    | 3%   | 4,000    | 3%   | 5,000    | 2%   | 2,000    | 2%   | ニュージーランド・オーストラリア                    |
| 中米/南米 | 3,180    | 1%   | 1,500    | 1%   | 3,000    | 1%   | 2,000    | 1%   | ブラジル・メキシコ                           |
| その他   | 42,840   | 13%  | 21,000   | 13%  | 29,000   | 12%  | 12,000   | 13%  |                                     |
| 合計    | 325,000  | 100% | 157,000  | 100% | 250,000  | 100% | 117,000  | 100% |                                     |

データ推計は、航空会社へのヒヤリングを実施しOCVBにて推計値を算出。主に海外で購入された日本国内線航空券などを参照しているため、国籍を明確に分類したものではない。

## （概況）

空路国内線経由外国人入域について、2024年度下期の推計値は約157,000人となり、2023年度と比較すると約4万人増となった。2024年度の推計値は、約325,000人となり、2023年度の約250,000人と比較すると約7.5万人増となった。

2024年度の地域別シェアは、北米（米国・カナダ）が52%で最も多く、ヨーロッパが17%と続く。欧米だけで全体の約7割を占め、空路国内線経由で多くの欧米客が沖縄へ入域していることが推測される。

ヨーロッパからの入域観光客は、2024年上期の地域別シェア20%（別添参照）に対して、2024年下期の地域別シェア14%と年間通してみると夏場に沖縄に訪れていることが多いと推測される。

（参考）

2023年度公表値[こちら](#)  
2024年度上期公表は[こちら](#)

## ②県内ホテル客室・レンタカー単価概況

## 2. 県内ホテル客室単価概況（24年度実績および4～6月見通し）

（1客室あたり単価）

| ホテル区分  | 実績      |        | 見通し     |        |         |        |         |        |
|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|
|        | 2024年度  | 前年度比   | 4月      | 前年度比   | 5月      | 前年度比   | 6月      | 前年度比   |
| 本島リゾート | ¥32,694 | 101.5% | ¥29,089 | 102.0% | ¥33,180 | 104.2% | ¥29,423 | 103.7% |
| 離島リゾート | ¥26,562 | 92.6%  | ¥27,514 | 107.9% | ¥29,762 | 106.8% | ¥27,040 | 108.9% |
| シティホテル | ¥14,725 | 100.5% | ¥14,332 | 117.6% | ¥14,669 | 118.0% | ¥14,375 | 122.5% |

（OCVB独自調査）

※上記ホテル客室単価実績および見通しについては、OCVBがヒアリングした約330のホテルの平均値

（概況）

2024年度の実績について、本島リゾート、シティホテルは多客期である夏場の単価上昇に伴い、年度平均のホテル単価は前年度を上回った。離島リゾートは、2023年11月末までの実施していた全国旅行支援の影響や新規ホテルの開業が相次いだことから年度平均のホテル単価は前年度を下回った。

2025年4月～6月の単価見通しについては、すべてのホテル区分で前年度を上回る見込み。物価高やインバウンド需要による単価の底上げが影響していると思われる。

（県内ホテルや旅行会社、OTAへのヒアリングによるOCVB独自調査）

## 3. 県内レンタカー単価概況（24年度および4月～6月見通し）

| 推計      |       |        | 見通し     |       |        |         |       |        |         |       |        |
|---------|-------|--------|---------|-------|--------|---------|-------|--------|---------|-------|--------|
| 2024年度  | 前年度比  | 19年度比  | 4月      | 前年度比  | 19年度比  | 5月      | 前年度比  | 19年度比  | 6月      | 前年度比  | 19年度比  |
| ¥21,215 | 87.2% | 215.0% | ¥17,085 | 92.1% | 169.6% | ¥19,802 | 92.2% | 146.0% | ¥17,041 | 92.6% | 208.2% |

※上記、レンタカー単価実績および見通しのOTAからのヒアリングによるOCVB独自調査（平均値）単価については、1日当たりではなく予約1件当たりの単価。

（概況）

2024年度の県内レンタカー単価平均については、前年度比で87.2%となった。4～6月の見通しについては、いずれも前年度の9割程度となっている。タブレット端末を使用したレンタカーの貸出や無人レンタカーなど省人化の取り組みも増えている。

（OTAおよび沖縄県レンタカー協会へのヒアリングによるOCVB独自調査）



# 2025年GW期間中に海外から約36,000人が来沖

## 台湾・韓国市場がけん引、中国市場は限定的な回復

沖縄観光コンベンションビューロー（以下、OCVB）が独自に実施した海外航空会社20社へのアンケート調査によると、ゴールデンウィーク期間（対象日程:4月29日～5月6日）における沖縄路線のインバウンドの座席予約数が約36,000席となっていることがわかりました。

総有償予約席数は35,973席にのぼり、国別では、台湾（16,132席）、韓国（12,987席）が高い水準にあり、香港（4,744席）、東南アジア地域（1,748席）と続いています。

## 国・地域場別の傾向について

### 台湾

■予約数：16,132席

最も高い予約数を記録。特に4月30日～5月1日にピークとなっています。沖縄への近距離・短期滞在ニーズの増加が背景にあり、特に家族旅行や若年層を中心とした予約が活発となっています。

### 韓国

■予約数：12,987席

韓国では訪日旅行人気回復基調にあり、春の連休（例：こどもの日や労働者の日）などの休暇シーズンとのタイミングが重なったこともあり、ゴールデンウィークを絡めた短期旅行の需要が目立っています。4月29日～5月3日まで高い水準を維持しており、5月1日、5月3日が特に多くなっています。沖縄は「手軽に行けるリゾート地」として認知が広がっている他、直行便の増便や、新たなLCC路線の開設も追い風となっています。

### 香港

■予約数：4,744席

香港からの予約は、5月1日（864席）に最も高く、4月30日～5月2日にかけて集中的に増加しています。香港市場特有の「短期・リフレッシュ旅行」志向が反映されており、ゴールデンウィーク初期に訪日ピークが見られました。香港ではコロナ後の海外旅行需要が本格的に戻りつつあり、特に沖縄の自然・グルメ体験を目的とした旅行ニーズが増加傾向にあります。

### 東南アジア

■予約数：1,748席

東南アジア市場は、大型連休と直接重なる国が少ないため予約数は比較的控えめとなっています。全体として日別変動が小さいものの、4月30日、5月1日が比較的高い水準でした。近年、沖縄は東南アジア富裕層を中心に「ラグジュアリーリゾート」としての認知が進んでおり、団体ツアーに加えて個人旅行（FIT）層の拡大も見られます。

### 中国

■予約数：362席

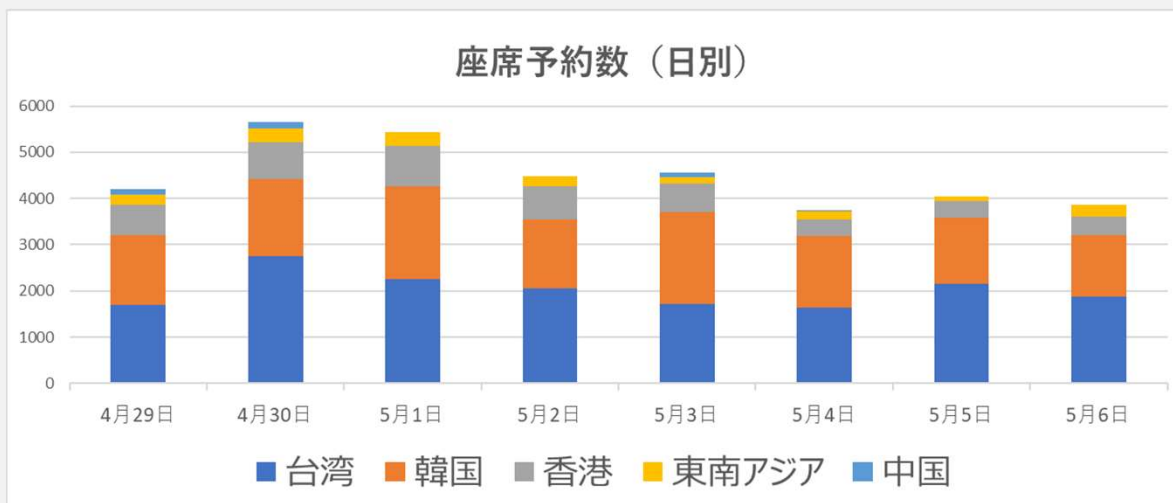
全体的な傾向として、中国本土からの訪沖旅行は航空便数の制約等が影響し、回復途上にあります。本データは、中国から沖縄に就航している航空会社4社のうち、回答が得られた2社のデータをもとに集計したものとなり、中国市場全体の動向を完全に反映したものではありませんが、現時点で得られる参考情報の一つとして位置づけています。今後もデータの収集と分析を進め、最新の動向を注視してまいります。

## 2025年GW期間中は海外から約36,000人が来沖

## 一日あたりの予約席数は平均4,500席

今年のGW期間の一日当たりの平均予約数は約4,500席となっており、これは、最も旅行需要が高まるとされる春節期間と比較した時の約9割の予約数となっています。

日別にみると、労働節前日となる4月30日(水)と、メーデーとなる5月1日(木)は最も多い予約数となっており、特に4月30日の中国便の利用率は9割を超える予約率で満席近い状態となることがわかりました。



| 路線別   | 提供座席数  | 座席予約数  | 予約率 |
|-------|--------|--------|-----|
| 台湾    | 24,179 | 16,132 | 67% |
| 韓国    | 16,649 | 12,987 | 78% |
| 香港    | 7,475  | 4,744  | 63% |
| 東南アジア | 2,688  | 1,748  | 65% |
| 中国    | 654    | 362    | 55% |
| 総計    | 51,645 | 35,973 | 70% |

## 【参考】

調査対象期間：4月29日～5月6日（8日間）  
調査対象路線：中国、台湾、韓国、香港、タイ、シンガポール

回答航空会社数：20社

※国際線直航便が就航している那覇空港・下地島空港、石垣空港到着便が回答対象

※回答がなかった航空会社の数値は含まれておりません

※参考：7か国/12地域  
230便(週)/22社

## 海外路線プロモーションについて

沖縄へ直行便が多く就航している台湾、韓国、香港は成熟市場となることから、今後はモノ消費が中心のゴールデンルートとの差別化を図るため、地方の魅力が伝わるコト消費による量から質への転換を目指します。

一方では、海外航空路線が急激に回復している状況に対し、空港における受入体制の課題も見え始めていることから、改善に向けた関係各所との連携を強化し、高付加価値化や離島への誘客を促進します。

回復が低調な中国市場においては、コロナ以降変化した個人旅行動向に対応するべく、旅行地としての沖縄の認知度向上を図るため、旅マエでのSNS媒体での発信を強化してまいります。

## 2025年GW期間中に海外から約36,000人が来沖

## 今後のプロモーション予定（リアルプロモーション関連）

| エリア等 | プロモーション内容  | 目的                       | 実施時期    |
|------|--|--------------------------|---------|
| 台湾   | <b>展示会出展（高雄国際旅行博）</b><br>チャイナエアラインの高雄便増便を好機と捉え、南台湾最大のトラベルフェアである当該催事において、旅行好きな層や新たな旅行先を探している潜在層に向け、高雄-那覇路線の認知拡大と来沖増を図ります。                         | 路線認知度向上及び<br>利用促進        | 2025年5月 |
| タイ   | <b>ダイビング関係展示会出展</b><br>タイは沖縄と同様に豊富な生態系と美しい海があることでダイビングファンが多い国と言われています。ダイビング需要の高いタイ市場において沖縄県内のダイビング事業社とともに、沖縄ダイビングの魅力を発信することで、ダイビング需要による来沖増を図ります。 | ダイビングコンテンツ訴求<br>（消費額増）   | 2025年5月 |
| 韓国   | <b>展示会出展（第40回 ソウル国際トラベルフェア）</b><br>県内事業者と共同で沖縄ブースを運営し、来場者・現地旅行関係者を対象に、離島路線の認知拡大や滞在日数延伸を促進する沖縄観光情報を提供します。   | 離島路線認知度向上<br>消費額増・滞在日数延伸 | 2025年6月 |
| 中国   | <b>展示会出展（北京国際旅游博覧会）</b><br>北京-那覇便においては、直行便の搭乗率の低さが課題となっているため、北京で行われる本催事へ出展し、沖縄観光の情報発信及びOCVB公式SNSの周知を行うことで将来的な来沖を促します。                            | 路線認知度向上及び<br>利用促進        | 2025年6月 |
| 香港   | <b>展示会出展（香港ブックフェア2025）</b><br>県内事業者と共同で沖縄ブースを運営し、来場者・現地旅行関係者を対象に、離島路線の認知拡大や滞在日数延伸を促進する沖縄観光情報を提供します。  | 離島路線認知度向上<br>消費額増・滞在日数延伸 | 2025年7月 |
| クルーズ | <b>MSCベリッシマ船内PR</b><br>大型クルーズ船MSCベリッシマが東京発着の沖縄寄港クルーズを運航するにあたり、ツアー主催者と連携し、沖縄行きの船内において寄港地デスクを設置し、観光情報や県産品のPRを行うことで寄港後の消費促進につなげます。                  | 県内観光地訪問促進<br>消費額増        | 2025年5月 |



## 2025年GW期間中はクルーズ船が13回寄港予定

## クルーズプロモーションについて

クルーズ船においては、コロナ禍前は、アジアを中心とする世界のクルーズ市場の拡大に伴い、沖縄県へのクルーズ船の寄港回数は日本最多、過去最高を記録しました。一方で寄港地の偏りや訪問先の固定化などクルーズ寄港による地域経済波及が限定的であったほか、急激な寄港数増加に伴い、寄港地の住環境への影響も懸念されるなどの問題もありました。

今後はクルーズ船の受入実績を重ね、受入体制の段階的な拡大に取り組みながら着地型観光の推進、またラグジュアリー・プレミアムクラスのクルーズのほか、沖縄発着のフライ＆クルーズの誘致を図ることで寄港による経済効果の拡大を図ってまいります。

## GW期間のクルーズ船入港予定

ゴールデンウィーク期間中は、那覇港(5回)、石垣港(4回)、平良港(4回)で計13回のクルーズ船の入港が予定されています。

| 港   | 入港日   | 入港時間  | 出港日   | 出港時間  | 船社                            | 船名              | 旅客定員  | バース |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------------------------------|-----------------|-------|-----|
| 那覇港 | 5月2日  | 6:00  | 5月2日  | 21:00 | Cunard_Line                   | クイーン・エリザベス      | 2,503 | 第2  |
|     | 5月2日  | 7:00  | 5月2日  | 19:00 | Princess_Cruises              | ダイヤモンド・プリンセス    | 3,247 | 泊8  |
|     | 5月3日  | 7:00  | 5月3日  | 19:00 | Royal_Caribbean_International | スペクトラム・オブ・ザ・シーズ | 5,622 | 第2  |
|     | 5月5日  | 7:00  | 5月5日  | 14:30 | MSC_Cruises                   | MSCベリッシマ        | 5,655 | 第2  |
|     | 5月5日  | 12:00 | 5月5日  | 22:00 | Resorts_World_Cruise          | スター・ナビゲーター      | 2,700 | 泊8  |
| 石垣港 | 4月30日 | 7:00  | 4月30日 | 21:00 | Norwegian_Cruise_Line         | ノルウェージャン・スピリット  | 2,018 | 石垣港 |
|     | 5月1日  | 8:00  | 5月1日  | 17:00 | Regent_Seven_Seas_Cruises     | セブンシーズ・マリナー     | 735   |     |
|     | 5月3日  | 12:00 | 5月3日  | 20:00 | 星旅遠洋郵輪                        | ピアノランド          | 1,800 |     |
|     | 5月4日  | 8:00  | 5月4日  | 18:00 | Eastern_Cruise                | イースタン・ヴィーナス     | 532   |     |
| 平良港 | 5月1日  | 7:00  | 5月1日  | 16:30 | Norwegian_Cruise_Line         | ノルウェージャン・スピリット  | 2,018 | 平良港 |
|     | 5月2日  | 7:00  | 5月2日  | 18:00 | Ponant_Cruises                | ル・ジャック・カルティエ    | 203   |     |
|     | 5月4日  | 7:00  | 5月4日  | 16:00 | MSC_Cruises                   | MSCベリッシマ        | 5,655 |     |
|     | 5月6日  | 10:00 | 5月6日  | 20:00 | Resorts_World_Cruise          | スターナビゲーター       | 2,700 |     |

計13回

## 【お問い合わせ先】

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー

海外・MICE部 海外プロモーション課

海外路線

担当：黒島、仲里、奥平

TEL:098-859-6127 FAX:098-859-6221

Mail: [ocvb\\_china@ocvb.or.jp](mailto:ocvb_china@ocvb.or.jp)

クルーズ

担当：阿嘉、平山、宮城

TEL:098-859-6127 FAX:098-859-6221

Mail: [cruise@ocvb.or.jp](mailto:cruise@ocvb.or.jp)

# 「おきなわフェスタin四国2025」の沖縄観光ブース出展について OCVB

「おきなわフェスタin四国2025」にて沖縄観光ブースを出展します。

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（以下OCVB）は、沖縄県より国内需要安定化事業を受託しており、地方路線の利用率の向上を目的とし、「おきなわフェスタin四国2025」に沖縄観光ブースを出展いたします。

「おきなわフェスタin四国」は四国最大級の沖縄イベントとして行われ、今回で3回目の開催となります。沖縄出身アーティストによる音楽ライブを始め、飲食ブース、展示物販、体験講座など、様々な沖縄の魅力が凝縮され、沖縄と四国4県の繋がりを感じられるイベントです。



名称：おきなわフェスタin四国2025

開催日時：令和7年5月5日（月）11：00～17：00 6日（火）10：00～16：00

開催場所：愛媛県県民文化会館

## 地方路線の利用促進・誘客の強化

現在、松山 - 那覇間は1日1往復直行便が就航しておりますが、国内主要路線以外の地域からの誘客は、新規客層の開拓ならびにプロモーションエリアの分散の意味においても重要であり、搭乗率の向上を図っていくことは大きなポイントと考えています。

このイベントをはじめ、航空会社並びに地元旅行会社とも連携しながら、各路線での誘客活動に努めてまいります。



※前回第2回（2022年）の様子。

沖縄観光ブースでは観光情報の案内を行い、2日間で6000人を超える来場で賑わっていました。

### 【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部 国内プロモーション課 担当：森田、玉城

TEL：098-859-6125 Mail：kokunai\_rosen@ocvb.or.jp



# 国際金融暗号学会2025の宮古島開催について

## 本格的な国際会議、宮古島で初めて受入を実施

4月14日(月)～18日(金)、宮古島で「国際金融暗号学会2025 (Financial Cryptography and Data Security)」が開催されました。OCVBは沖縄県やJNTO、会場となったシギラセブンマイルズリゾートはじめ地元関係者とも連携し、宮古島初の本格的な国際会議(※1)を誘致・実施しました。

シギラセブンマイルズリゾートを主会場に、島内観光のエクスカージョンも実施し、参加者は充実したビジネス環境と宮古島の温かいホスピタリティを満喫しました。本開催は経済波及効果に加え、島嶼地域での国際会議開催のノウハウ蓄積や知名度向上にも寄与するものです。カンファレンスディナーには宮古島市長ならびにOCVB下地会長も出席し、感謝とともに沖縄のMICE環境の魅力を発信しました。

催事名称：Financial Cryptography 2025

主催団体：International Financial Cryptography Association

開催期間：2025年4月14日～18日

会場：ホテル シギラミラージュ (宮古島)

会議ウェブサイト：<https://fc25.ifca.ai/>

参加人数：約200名 内訳：海外170名(欧米を中心とした30カ国)、県外30名

※12年ぶりの日本開催(初の宮古島開催)も影響し、参加登録者数が増加。

内容：金融システムをはじめとした各種社会システムのセキュリティを議論する国際的な暗号学の会議。

暗号通貨に関しては世界最高峰の研究討議の場となる。

## 宮古島選定の主な理由

- ・ アジアからのアクセスの良さ(アジアからの参加者増加を期待)
- ・ カリブ海を始め世界のビーチリゾートで毎年開催されてきた本件の開催にふさわしい質の高いビーチリゾート
- ・ 高い安全性

※1 本催事は国際会議協会(International Congress and Convention Association:ICCA)が公表する国際会議統計の選定基準を満たした会議です。

(1) 参加者総数：50名以上

(2) 開催期間：定期的開催(1回のみ開催した会議は除外)

(3) 開催国について：日本を含む3カ国以上で会議のローテーションあり

(2カ国間会議、政府系会議、国連主催の会議は除外)



## (参考)

### 過去の沖縄開催実績

2013年：沖縄本島(会場：万国津梁館)

### キーパーソン

FC25共同実行委員長

佐古 和恵氏

／早稲田大学 基幹理工学部 情報理工学科 教授 (在日本)

Rafael Hirschfeld氏

／Unipay／IFCA Director (在オランダ)

### 【お問い合わせ先】

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー

海外・MICE事業部 MICE推進課

担当：折原、奥平

TEL:098-859-6130

FAX：098-859-6222

Mail:mice@ocvb.or.jp

# 経営者向け 専門家派遣の実施について

## 「令和7年度 専門家派遣」希望事業者募集中！

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューローでは、沖縄県より「令和7年度観光人材育成・確保促進事業」を受託しており、その一環として「専門家派遣」を実施いたします。本事業では事業者とのヒアリングのうえ、ご希望に適した専門家を派遣し課題解決をサポートいたします。経営についてお悩みをお持ちの観光事業者の皆様へ課題解決の手助けとしてぜひご活用いただきたく、広く周知のほどよろしくお願いたします。

### ■実施概要

主 催：沖縄県、（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

申請期間：令和7年4月～令和7年12月末 ※予算上限に達し次第締め切ります。

派遣時期：令和7年6月より順次

派遣回数：1社あたり4回程度

派遣料：無料

お申し込み方法：募集要項をご確認の上、専用ページよりお申し込みください。

▼詳細は[こちら](#)



### ■支援内容

お申し込み後、頂いた申請内容とヒアリング内容から専門アドバイザーと協議の上検討委員会の結果に基づき調整いたします。また委員会にて派遣が決定した後は担当する専門家と事前に打ち合わせを持ち、作成した計画書を基に全4回の支援を行います。

### ■派遣フロー



### ■対象要件

下記に該当する沖縄県内の観光関連事業者

- ・観光関連の事業者であること、また観光に関連した業務に携わっている事
- ・沖縄県に事業所を有している事
- ・専門家派遣により、支援の効果が期待できる状況であると判断されるもの
- ・経営向上を目指す意欲があり経営者が積極的に取り組むこと（報告書の提出、支援終了後の調査等）

### ■昨年度実績

支援事業者：20社

事例紹介（一部抜粋）

#### ・マリトレジャー業

相談内容：開業したばかりで集客に苦戦中。SNSへの投稿やマーケティングなどの広報活動についてや財務面について相談したい。

派遣内容：専門家もツアーに同行し、顧客へSNSへの投稿を促す方法や事業者の印象を残す工夫、マリトレジャー業における経営リスクやプライシングについてアドバイスを行った。

その他の事例については別添のチラシ裏面に記載しております。

#### 【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部 受入推進課 担当：知名・具志堅

TEL：098-859-6129 Mail：ikusei@ocvb.or.jp

# 県内学校向け 観光出前講座の実施について

## 将来の観光人材育成に向けた観光出前講座の実施を希望する学校を募集します

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（OCVB）では沖縄県より「令和7年度観光人材育成・確保促進事業」を受託しており、県内の小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校を対象に、沖縄観光の知識をはじめ、観光業の現状・課題、観光に関わる仕事についての講話を行う「観光出前講座」を実施いたします。つきましては、出前講座を実施する学校の募集を行っております。広く周知のほどよろしくお願いいたします。

### ■開催概要

名称：観光出前講座

実施期間：令和7年7月～令和8年2月

対象：県内小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校

費用：無料

授業内容：沖縄観光全般知識＋観光現場で働く方の講話/ワークシートを用いたグループワーク

講師：OCVB職員のほか、各観光業界において実際に従事する方々にご担当いただきます。

申込方法：専用フォームよりお申込みください。

年間定員：20校

※申込みが上限に達した場合、実施できない可能性がございます。ご了承ください。

小中学生には、観光の視点から沖縄の歴史・文化・自然を学び、沖縄観光の魅力を学ぶことができる「沖縄観光学習教材」を受講生徒人数分無料提供します。



▼申し込みフォームは[こちら](#)



▼詳細・教材本ダウンロードは[こちら](#)



### ■昨年度実績

実施回数：20回（離島含む）

内訳：

小学校 7校

中学校 7校

高等学校 3校

短期大学 1校

総受講人数：1,942人

### 【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部 受入推進課 担当：具志堅

TEL：098-859-6129 Mail：ikusei@ocvb.or.jp



# 沖縄県観光事業者収益力向上サポート事業 補助金について

## 「令和7年度 沖縄県観光事業者収益力向上サポート事業 補助金」補助事業者募集中！

一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センター（以下、「ISCO」という。）と一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（以下、「OCVB」という。）が連携し設立した観光事業者収益力向上サポートコンソーシアム（以下、「事務局」という）では、沖縄県からの委託を受けて、「沖縄県観光事業者収益力向上サポート事業」を実施します。

本事業では、沖縄県内の観光従事者の労働環境改善に向け、観光事業者の収益力向上に資する「生産性向上」「収益力向上」を目標とする設備投資やシステム構築等の取組みに対して補助をいたします。昨年度事業より応募要件も変更されており、事業説明会や個別相談も開催いたしますので、人手不足でお悩みの観光事業者の皆様にご活用いただきたく、広く周知のほどよろしくお願いいたします。

### ■実施概要

- ・公募期間：令和7年5月1日（木）～令和7年5月22日（木）13時まで
  - ・補助上限額：10,000千円（消費税及び地方消費税は含まない）
  - ・補助対象経費：
    - ・観光事業者の無人化・省人化に資する取組（収益力向上）に要する、次に掲げる経費
      - ア. 備品購入、ソフトウェア等の購入・改良費（新たに導入するリース料も含む）、クラウドサービス利用料
      - ＜例＞
        - 備品購入：自動セルフチェックイン機、GPS音声ガイドシステム等
        - ソフトウェア等の購入・改良費：（ア）に付随するソフトウェア、予約システム、QRセルフオーダーシステム、免税対応キャッシュレスPOSシステム 等
    - イ. システム構築費
      - ＜例＞顧客管理システム、AI多言語案内システム等
    - ウ. 上記に付随する施設整備・改良費、運搬費
      - ＜例＞社内システム構築費、機器の輸送・搬入費等
    - エ. その他知事が必要と認める経費
- ※10万円未満（単価）の備品購入は対象外です。

本事業の詳細な内容や質問・申し込みについては、本事業ページをご確認ください。

### ・【令和7年度】沖縄県観光事業者収益力向上サポート事業 補助金

<https://www.ocvb.or.jp/support/4293>

▼詳細は[こちら](#)



### 【参考】昨年度実績

- ・支援件数：55件（大規模4件、中規模20件、小規模31件）
- ※昨年度、本事業において支援を行った取組の中から、優良事例についてとりまとめた「令和6年度 沖縄県観光事業者収益力向上サポート事業 成果事例集」を公開しております。あわせてご確認ください。
- ・【令和6年度】沖縄県観光事業者収益力向上サポート事業 成果事例集  
<https://www.ocvb.or.jp/topics/4531>

**Tourism Industry Support**

令和6年度 観光事業者収益力向上サポート事業 成果事例集

採択率 / 72%

掲載事例：
 

- リゾート観光株式会社
- 株式会社ジェイスター
- 株式会社カヤホシ

### 【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー  
国内事業部 受入推進課 担当：渡辺  
TEL：098-859-6129  
Mail：ocvb.isco\_info@isc-okinawa.org